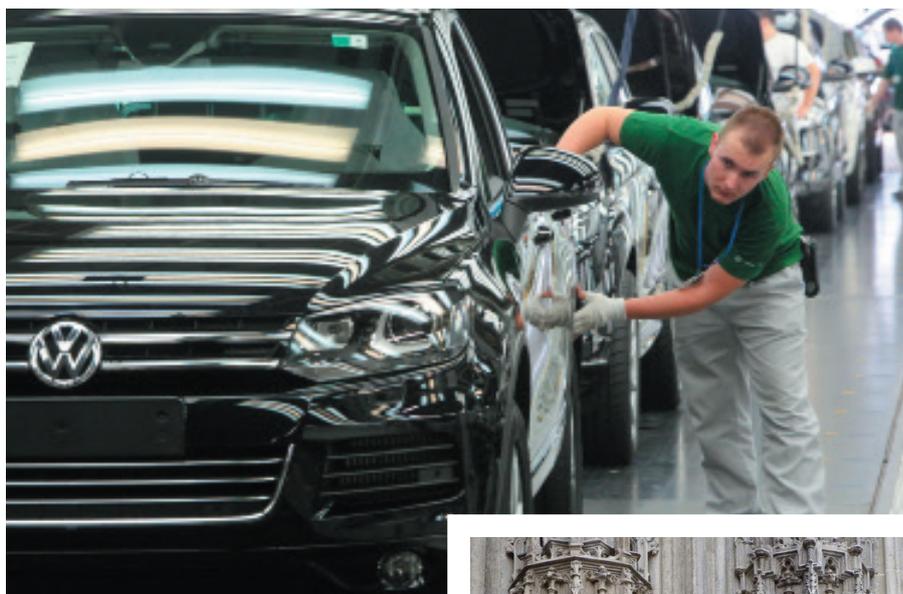


SARIO

スロバキア投資・貿易開発庁

理想的な外国
直接投資先、
スロバキアのご紹介

スロバキアの投資環境



スロバキアの投資環境

本パンフレット“スロバキアの投資環境”は、スロバキア共和国の経済環境およびその統計、ビジネス環境に関する情報、有力な産業分野、経済発展の展望およびその戦略、その他有益な情報を提供することで、同国がビジネスにとっていかに理想的な環境であるかということ、皆様にご紹介することを目的として作られました。

一般情報

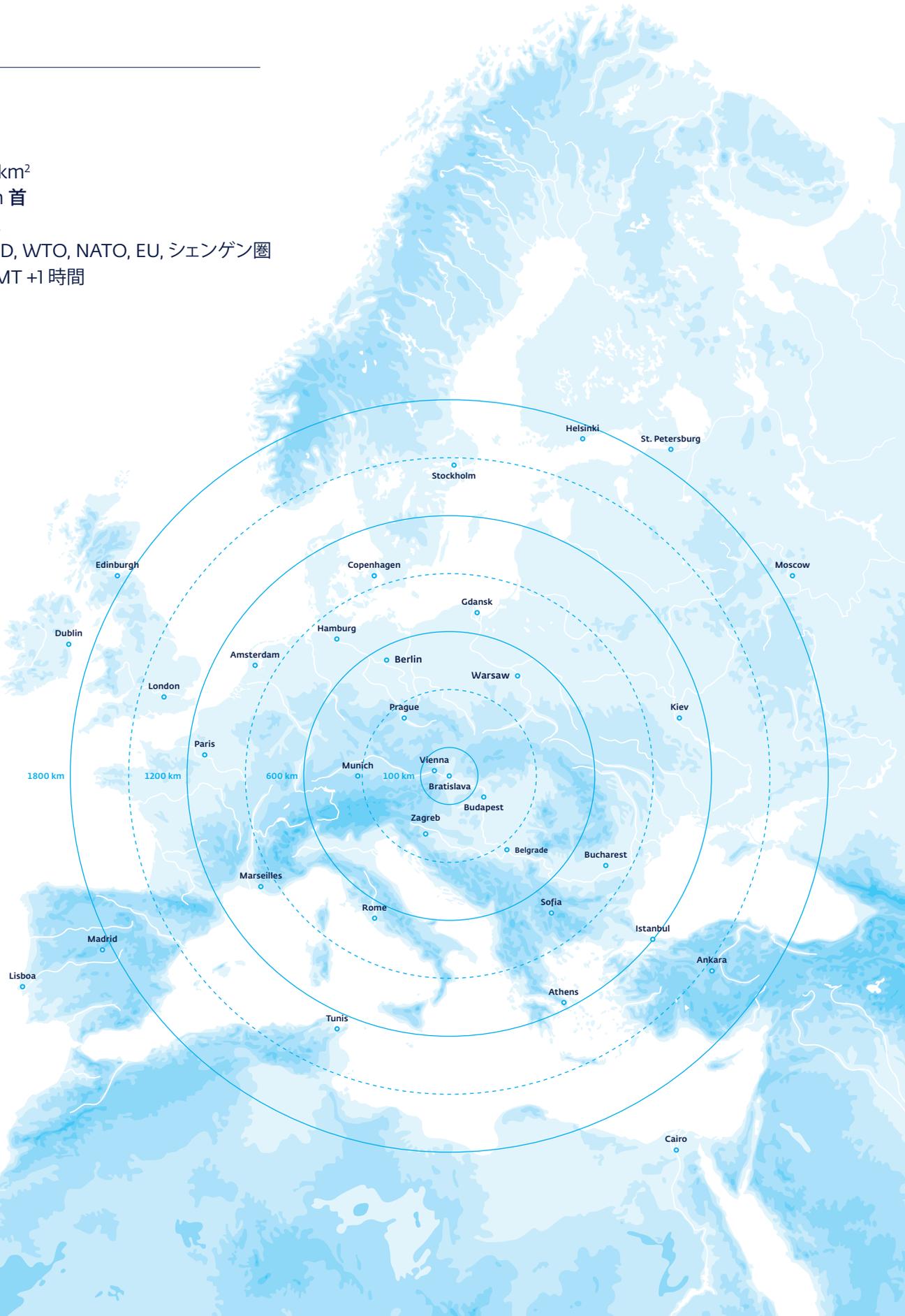
総面積: 49,035 km²

人口: 5.4 million 首

首都: Bratislava

加盟/承認: OECD, WTO, NATO, EU, シェンゲン圏

タイムゾーン: GMT +1 時間





スロバキアへの直接投資を推奨する10の理由

- ① 中欧の拠点として輸出に適したロケーション
- ② 安全な投資環境: 政治的・経済的な安定性
- ③ 過去10年間で最速の成長率を誇るユーロ圏国
- ④ ビジネス・世界銀行・財産権の保障の分野で中・東欧のリーダー的存在 2004～2013
- ⑤ 異文化の経営スタイルにも高度に順応する労働力
- ⑥ 中・東欧で一番の労働生産性とトップ10に入るハードワーカー国
- ⑦ 中・東欧で数少ないユーロ導入国
- ⑧ 工場用地やオフィスの選択肢が豊富
- ⑨ 着実に成長しているインフラ・ネットワーク
- ⑩ 魅力的な投資誘因

マクロ経済概況

バランスのとれた経済成長の見込み

スロバキア経済は2013年に減速気味となったが、2014年は2.3%、2015年には3.2%と成長率が上昇することが予想されます。今後は、輸出に加え国内消費も経済を牽引し、バランスの良い経済成長が見込まれます。また、雇用の伸びは緩やかですが、インフレ率は低水準を維持し、政府の財政赤字はGDPの3%を僅かに下回る見通しです。

(出所: EU委員会、2014年春季経済予測)

中東欧諸国屈指のビジネス環境

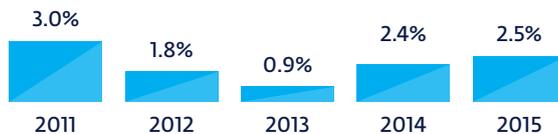
世界銀行が発表するビジネス環境ランキングは、国ごとのビジネス環境の水準および魅力を表したものです。各国は、ビジネス環境にしたがって、1～185位にランク付けされています。順位の高さは、企業活動を支える上で、国の規制等の環境が整っていることを意味しています。比較検討される要素として、政治的・制度的環境、マクロ経済的安定性、市場ポテンシャル、民間企業へのサポート力、税制、財政、契約履行、事業の開始および終了、労働市場、インフラストラクチャーなどがあります。

中・東欧内では少数派のユーロ加盟国

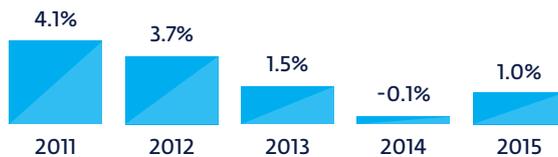
スロバキアは、2009年1月にユーロを導入し、ユーロ通貨圏の第16ヶ国目のメンバーとなりました。為替レートは、1ユーロ=30.1260コルナです。ユーロ圏に入ったことにより、通貨の両替リスクを下げ、加盟国の財政規律を強化することができ、より安定した経済に向けてより良い結果をもたらしています。

実質GDP成長率

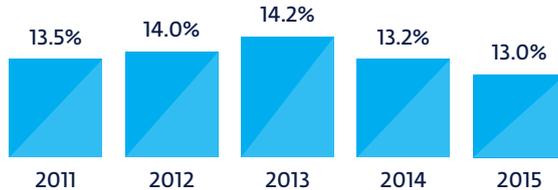
出展: 2014 Eurostat, 記: 2014, 2015年予想



インフレ率



失業率



商品・サービスの国内総生産 (GDP) 指数比率)



中・東欧で最高の労働生産性

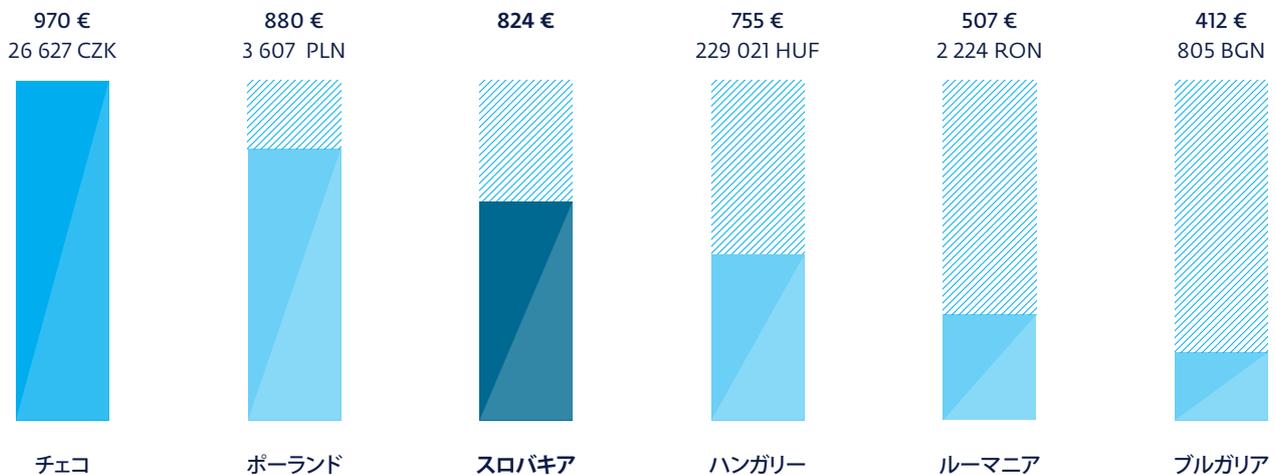
労働生産性指数は、就業1時間あたりのGDPで表されます。下の図は、EU初期加盟28か国の平均と比較したそれぞれの国の労働生産性を表したもので、購買力平価基準(PPS)ベースのGDPに基づく1時間あたりの労働生産性指数を示しています。これにより、国によって物価水準が違っていても有意の比較が可能になっています。

労働生産性指数

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
スロバキア	65.1	67.4 ↑	71.1 ↑	74.0 ↑	73.8 ↓	74.1 ↑	75.1 ↑	75.3 ↑	76.5 ↑
ハンガリー	57.0	57.0	56.1	59.3	60.5	60.3	60.6	61.9	61.5
チェコ	67.0	68.2	70.9	68.4	70.1	67.6	67.9	67.3	66.6
ポーランド	49.7	49.0	49.9	50.1	52.4	56.3	58.1	59.3	59.9
ルーマニア	32.7	35.5	38.5	43.5	43.4	44.0	43.9	44.4	45.1
ブルガリア	36.2	36.7	37.8	39.0	39.6	41.0	43.1	44.4	43.2

出典: Eurostat 2014, EU統計局 2014年

2013年の総月給額



出典: チェコ共和国、ハンガリー、ポーランド、スロヴァキア、ブルガリア、ルーマニアの各国家統計局為替レート

税制度

20%	22%	100%	0%
消費税	法人所得税	利益の本国送金	配当税 相続および贈与税 不動産譲渡税



スロバキア かけがえのない人材の宝庫

スロバキアは、他の中東欧諸国に比べ、高い大学進学率を誇っています。全人口のうち16%が大卒以上で、77%が高等学校教育課程を修了しています。

大学教育

スロバキアには、現在、35校の大学があります。2013年～2014年の学年度には、学士課程、修士課程合わせて、実に19万2,851名がスロバキアの大学に入学し、また、卒業した数は、6万7,292名でした。これは、1980年代に起こったベビーブームの影響と高い進学率のためです。スロバキアの高校卒業者の大学進学率は、世界でもトップレベルとなっています。

高等教育

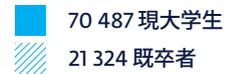
スロバキアでは、専門訓練校や職業訓練校のシステムが確立されています。日々変化する労働市場の要求に対応するため、高等学校では、高水準の管理体制の下、独自の教育プログラムを組み、地域産業のニーズにんでいます。

多言語を話す能力と教育

スロバキア人は、向上心に溢れ、柔軟性があります。ほとんどのスロバキア人は二ヶ国語を話します。中でも英語は、全教育機関の学生のうち92%が学んでおり、次に、隣国オーストリアの影響と歴史的背景により、ドイツ語が話されています。中東欧諸国に進出した企業の管理職は、スロバキアへの進出の決定的要因の一つに、スロバキア人の英語力の高さを上げています。

大学における専攻分野

社会科学分野



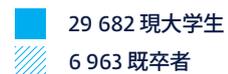
経済分野



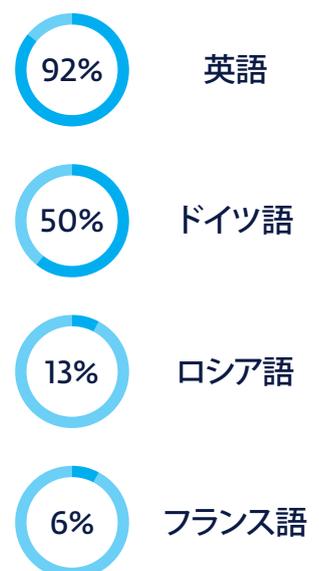
科学技術分野



自然科学分野



高等教育課程 に取り入れられている外国語



出典： 2014年教育情報・予測研究所、WWW.UIPS.SK、2014年SARIO算出

主要産業部門

スロバキアには、すでに確立された産業基盤があり、これが現代の自動車、電気電子といった産業の発展に大きく貢献しています。過去数年間にわたり、様々な分野を代表する大手企業が、中東欧地域で事業展開をする上で最良のロケーションとしてスロバキアを選んできました。



01 自動車産業



02 電気電子産業



03 シェアードサービス/情報通信技術産業

01 自動車産業

スロバキアの自動車産業は多様性に富んでおり、全くタイプの異なる自動車メーカーが3社あります。各社それぞれが独自に確立した下請け・サプライヤーネットワークを持ち、各ネットワーク内のサプライヤー同士も連携しています。現在、スロバキアでは、フォルクスワーゲンハイブリッド・トゥアレグ、ポルシェ・カイエン、プジョー、キア・スポーテージ、シードなど多種多様な車両が生産されています。

"スロバキアのジリナ工場によって、弊社の名前をヨーロッパに広めることができ、また、ジリナでのシードモデルの生産においても大きな成功を収めることができました。また、この工場は、KIAグループ全体で見ても世界で最も優れた工場のひとつだと考えられています。ここに新規エンジン生産部門を作り、それにより弊社全体のエンジン生産能力を45万台にまで高めることができ、大変嬉しく思います。弊社は、長期的な事業強化をスロバキアで行っていきます。また、ジリナ地域における雇用のプラス影響とスロバキアの経済成長も、私たちの目標です。"

—
インキュー・バエ
KIAモーターズスロバキア
代表取締役社長

02 電気電子産業

2000年より、スロバキアの電気電子産業は、目覚ましいスピードで成長しており、スロバキア経済にとって大変重要で、何物にも代えがたい役割を果たしてきました。電気電子産業は、自動車産業に次ぐ中心的存在となっており、雇用創出と輸出においても2番目の地位を確立しています。

"AUOスロバキア設立により、高品質液晶ディスプレイを世界のお客様に効率よくお届けするための万全のネットワーク作りを行っています。私たちは、スロバキア政府、そして、ブラチスラバにある台北代表オフィスからの全面的かつ、継続的なサポートに大変感謝しています。"

—
Paul.S.L. Peng
AUO スロバキア
代表取締役社長

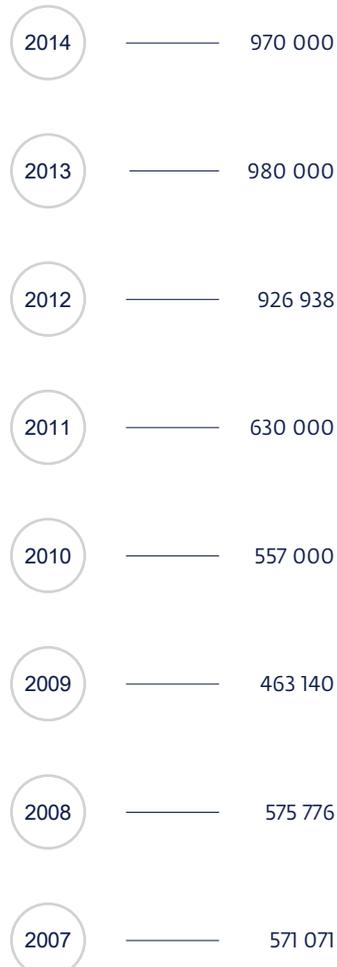


2014年第1位

1人あたりの自動車生産台数において第1位となりました。

住民1000人当たり178台

スロバキアにおける自動車生産台数





03 シェアードサービスセンター／情報通信技術産業

シェアードサービスセンターの活動が目覚ましい地域のひとつにブラチスラバが挙げられており、スロバキアのコシツェ市、トレンチーン市も将来は上位グループに入ってくると考えられています

"弊社がスロバキアに進出する決め手となった要因は、スロバキア人の語学力の高さ、競争力のある音声およびデータネットワーク、安定した政治経済および政治環境、そしてブラチスラバが、西ヨーロッパのEMEA顧客の大多数に、また重要な新興市場である東ヨーロッパにも近いという地理的条件です。"

Rolf Lobreyer ヒューレット・パカードEMEA デリバリーマネージャー

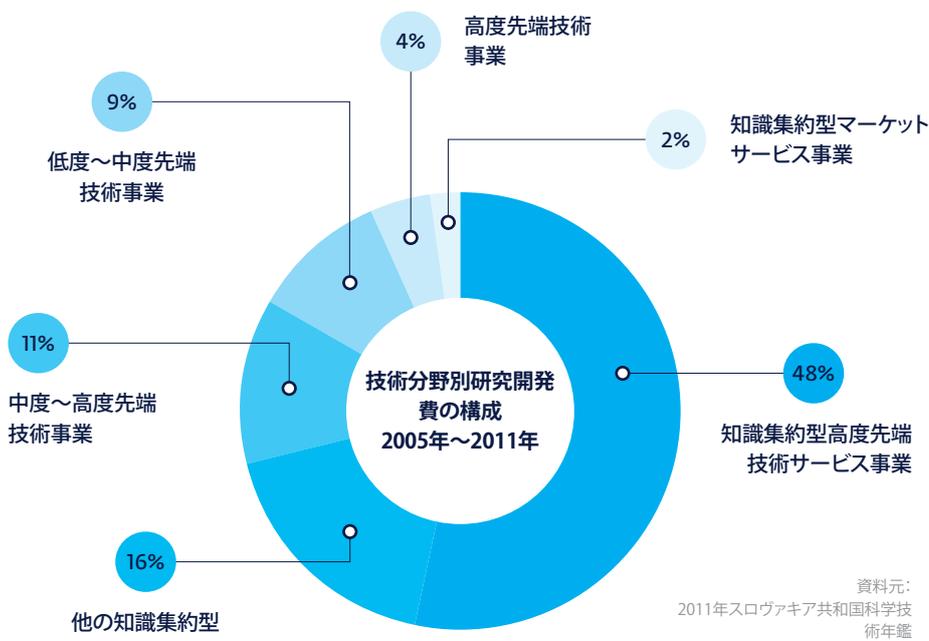
スロバキアに投資する理由

- 安全な投資環境: 政治的・経済的な安定性
- 過去10年間で最速の成長率を誇るユーロ圏国
- ビジネス・世界銀行・財産権の保障の分野で中・東欧のリーダー的存在
- 中・東欧で一番の労働生産性とトップ10に入るハードワーカー国2013
- 中・東欧で数少ないユーロ導入国
- グローバルなビジネスをするために重要な時間帯にある
- 魅力的な投資誘因
- 優秀な多言語を話す能力 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、チェコ語、ポーランド語、ハンガリー語、ロシア語 スカンジナビア語)
- 利用可能な労働力— 年間7万人の卒業生と21万人の大学生
- 異文化・経営スタイルへの高い適応性を有する労働力
- 豊富な選択肢を有するAレベルオフィス
- 着実に成長しているインフラ・ネットワーク



研究開発分野

スロバキア共和国政府は、研究開発および先進技術に特化した高い付加価値をもたらすプロジェクトや投資に対しての優遇措置を開始しました。



研究開発にスロバキアが選ばれる主なポイント

- 1 比較的 low コストで獲得可能な質の高い人材
- 2 高度先端技術産業における生産プラントの存在
- 3 研究開発および産業クラスターの存在
- 4 研究開発および先進技術分野の幅広いネットワーク
- 5 確立された産学協力体制
- 6 研究開発に対する助成制度

研究開発におけるスロバキアの地位

世界経済フォーラムによる国際競争力レポート2014-2015によれば、スロバキアは世界の中で次のようにランク付けされています。

外国直接投資における法制的ビジネス影響度



外国直接投資と技術移転



賃金と生産性



出典: 世界競争力レポート2014-2015 世界経済フォーラム2014、144カ国ランキング

投資に対する助成制度

投資に対する助成制度の第一の役割は、失業率が高い地域での投資プロジェクトの実施を促進することです。新規投資で期待されるプラス効果は、雇用創出、学卒者への就職機会の提供、さらに地域企業にとっての新たなビジネスチャンスの創出です。

テクノロジーセンター & 共有サービスセンター

テクノロジーセンターと共有サービスセンターの最低投資額はスロヴァキアの全地区で同額です。基本条件は以下の通り：

テクノロジーセンター

- 固定資産への最低投資額は50万ユーロ
- 最低25万ユーロは自己資金でカバーする
- 雇用する従業員のうち最低でも70%は大卒者であること
- 30以上の新規事業を創出すること

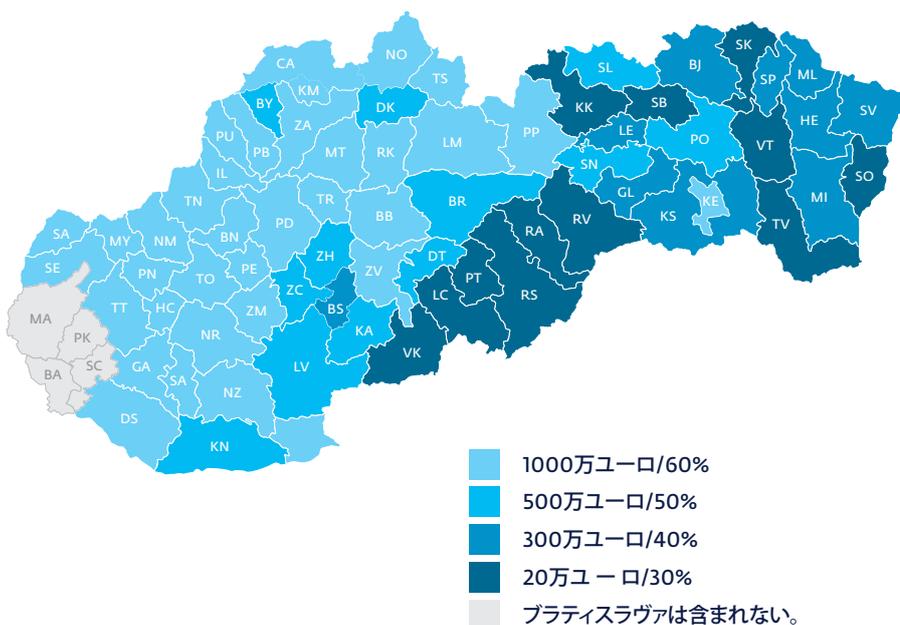
共有サービスセンター

- 固定資産への最低投資額は40万ユーロ
- 最低20万ユーロは自己資金でカバーする
- 雇用する従業員のうち最低でも60%は大卒者であること
- 40以上の新規事業を創出すること

製造業

最低投資額/新規機械設備費用が占める割合年

- 40以上の新規事業を創出すること
- 生産量または売上高の最低15%の増加



対象プロジェクト

投資助成法により、対象となる投資プロジェクトは、産業分野によって4つのカテゴリーに分けられています。

- 製造業
- テクノロジーセンター
- シェアードサービスセンター
- 観光業

対象となるコスト

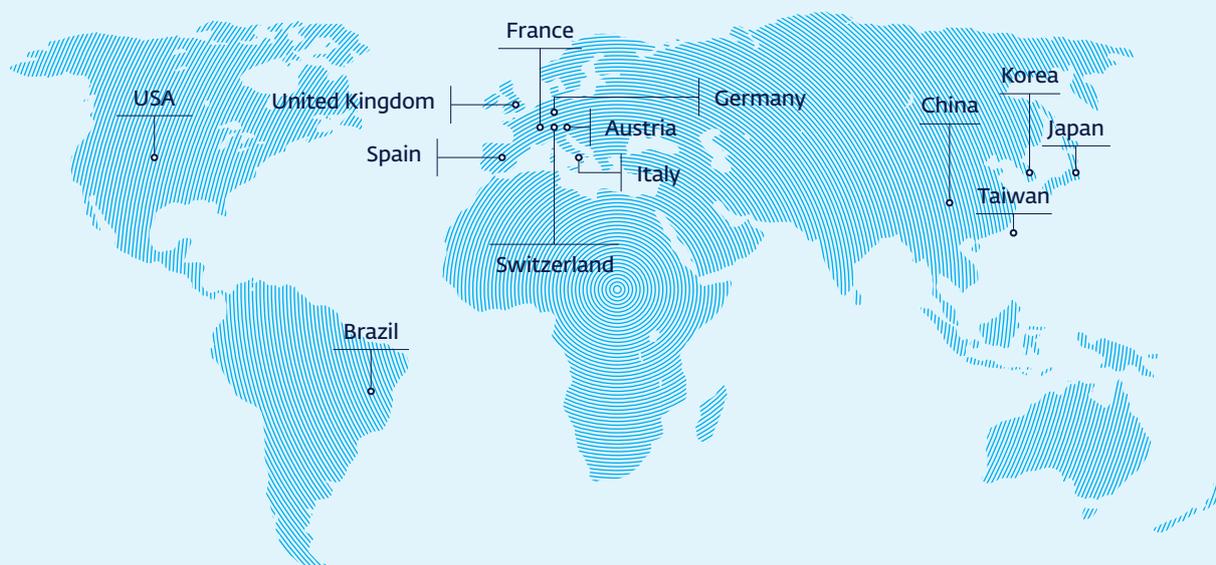
- 用地購入費用
- 建造物購入および建設費用
- 技術設備・機械設備費用
- 無形固定資産 — ライセンス・ノウハウ等

投資助成金の形態

助成金、税の減免措置、雇用創出に対する助成金、国家および自治体所有不動産の優遇価格での譲渡

サクセスストーリー

1993年の独立以来、スロバキアでは、世界各国から幅広い産業分野の投資プロジェクトが成功を収めてきました。その数は数百件に上ります。



投資プロジェクトが採択された企業(国別)

USA

US Steel, Emerson, DELL, Whirlpool, IBM, HP, Johnson Controls R&D Centre, AT&T, Accenture Technology Solutions, Getrag Ford, Honeywell, Amazon

Germany

Siemens, Volkswagen, T-Systems, Continental Automotive Systems

United Kingdom

CP Holdings Ltd, KMF, Boxperfect, Amylum, Hi-Tech Mouldings, Tesco

France

PSA Peugeot Citroën, Alcatel, Bourbon, CCN Group

Spain

Aluminiuim Cortizo, ESNASA, Plastics Alt Camp, Cikautxo

Austria

OMV, Mercedes-Benz, Schenker, Erste Group

Italy

Magneti Marelli, Brovedani, SISME, CAME, ZANINI

Switzerland

Swiss RE, Schindler

Korea

Samsung, KIA Motors, Mobis, Hyundai

Taiwan

AU Optronics, ESON, Foxconn, Delta Electronics

Japan

Panasonic Industrial Devices, Sanyo, U-Shin, SIIX, Sumitomo Electric, Brother Industries, Yamagata, Yazaki, Fuso, NMB – Minebea, Misuzu, Akebono Brake

China

Lenovo

Brazil

Embraco



スロヴァキアにおける海外直接投資

1993年からスロヴァキアは中・東欧諸国の中で最高の投資先でありました。2010年のFDI流入額は400億ユーロにまで達しました。アメリカ、アジア(中国、台湾、韓国、日本)およびヨーロッパ(ドイツ、オーストリア、フランス、イタリア)諸国の主に自動車産業、電子・情報技術分野は、好ましい投資先としてスロヴァキアを選んできました。

—

世界で最も魅力的な新興国の一つとして、スロヴァキアは投資するに値する最高の根拠を投資家の皆様に提供しています。

SARIO の提供するサービス

スロバキア投資・貿易開発庁 (SARIO) はスロバキア共和国政府管轄の投資・貿易促進機関です。当庁は2001年に設立され、スロバキア共和国経済省の管轄下で活動しています。

投資に関するサービス

投資を考える企業へのサービス

- ・ 投資環境の概要説明
- ・ 投資プロジェクト実施の支援
- ・ 事業開始に関するコンサルティング
- ・ 事業分野および地域の分析
- ・ 国家助成に関するコンサルティング
- ・ 用地および不動産に関するコンサルティング

既に進出された投資企業様へのサービス

- ・ 現地サプライヤーおよびサービス提供者の調査
- ・ 事業拡大の準備および実行支援
- ・ 移転支援、就労・滞在許可手続
- ・ 先端技術産業および研究開発の支援
- ・ ネットワーク作りの支援

海外貿易に関するサービス

以下をお探しの場合

- ・ スロバキアのサプライヤーまたは下請け会社
- ・ スロバキアの輸出・貿易環境に関する情報
- ・ ソーシングの機会
- ・ スロバキアのビジネス・パートナーとの ジョイントベンチャーの形成、

輸出業者様へのサービス

- ・ 海外地域情報
- ・ 個々の案件に応じた海外パートナーの調査
- ・ 事業機会のオンラインデータベース
- ・ 輸出研修センター
- ・ 下請けのサポート

イノベーションサポート

- ・ スロヴァキアのイノベーション及びR&D環境の発展と普及の為の支援活動
- ・ 国内外の革新的な大手企業との関係を構築する
- ・ 国内外の投資家たちの企業買収やジョイントベンチャー事業を支援するために、地元の投資環境をエコシステム分析する
- ・ 資金及び外国市場の獲得のために、各分野の具体的な情報を提供する



SARIO
投資プロジェクト数
2002～2014年

453 イベント



11 255
B2B ミーティング

出典: SARIO
2007 - 2014

受賞歴



2014年 Global Best to Invest 2013
サイトセレクション

全ての
サービスは **無料**です。

スロバキア投資・貿易開発庁(SARIO)

Trnavská cesta 100 | 821 01 Bratislava | Slovakia

 GPS +48° 9' 52.77", +17° 9' 20.27"

invest@sario.sk | trade@sario.sk | www.sario.sk